



協奏で、技術と未来をつなぐ

産業用ロボットのソリューションSier ダイドー



多数の来場者でにぎわったプライベートショー

対談

ダイドー
山田 貞夫 会長

井水 治博 相談役
日刊工業新聞社

仕入先300社の ネットワーク生かす

米国トランプ政権による関税政策の影響や地政学リスクなどで外部環境が厳しさを増す中、日本経済は成長経済移行への岐路に立つ。長く続いた経済停滞からの脱却に向け、節目を迎えている。日本の製造業の未来を左右するのは、「人手不足」や「サプライチェーン（供給網）最適化」など、立ちはたかる諸課題への対応力だ。ロボティクスやAI（人工知能）、最新の工場自動化（FA）機器の活用が広がれば、生産性向上や技術革新が促進され、持続的な経済成長に向けた歩みも確かなものとなる。「産業界のコンダクター（指揮者）」を標榜するメカトロニクス専門商社のダイドーは、2025年9月に同社として20年ぶりとなるプライベートショールを大阪で開いた。国内外のロボット・FA機器を取りそろえ、出展メーカーと来場者との「協奏」をテーマに掲げたイベントは、2日間約5000人を集めた。日刊工業新聞社相談役の井水治博が開催地大阪の中核拠点「大阪支社」（大阪市西区）を訪れ、山田貞夫会長とプライベートショールを通じて見えてきた未来像を語り合った。

井水 25年9月、「グランキューブ大阪」（大阪市北区）で約80社のロボットやFA機器などの製品・サービスを集めたプライベートショー「ダイドーコネクティブ2025」を開きました。ファナックやTDK、CKDなどの国内有力メーカーのほか、搬送用吸着機器の独シユマルで知られる中国メックマインドなどが出展し、2日間とも大変な来場者でにぎわったそうですね。このタイミングで大規模なプライベートショールを開いた狙いは、

山田 人手不足は企業の大小や業種を問わず、大きな課題です。動き手がいなくなっており、統計上の話ではなく、企業の存在に関わる切実な問題となっています。さらに企業はサプライチェーン見直しに伴う生き残りをかけた国際競争にありま。これらの課題に正面から向き合い、具体的な解決策を見つける場所を提供したいと思案しました。「2025年大阪・関西万博」で盛り上がりつついた大阪の地で開きたいと考え、橋・徹元大阪府知事による特別講演のほか、宇宙飛行士の山崎直子氏による

山田 約3000社の仕入れ先ネットワークを生かせるチャンスです。単体の企業が持つリソースでは達成できない革新を連携によって生み出したいです。当社が専門商社として長年志向してきた取り組みを再考すると、目指すのは、まさにオープンイノベーションです。製造業が抱える課題が複雑化する中、個別企業の製品・サービスだけでは解決しないケースも増えています。コンダクターを自負する当社が仕入れ先を開拓し、新たな価値を創造したいです。そこに改めて我々の存在意義を見いだしています。

山田 約3000社の仕入れ先ネットワークを生かせるチャンスです。単体の企業が持つリソースでは達成できない革新を連携によって生み出したいです。当社が専門商社として長年志向してきた取り組みを再考すると、目指すのは、まさにオープンイノベーションです。製造業が抱える課題が複雑化する中、個別企業の製品・サービスだけでは解決しないケースも増えています。コンダクターを自負する当社が仕入れ先を開拓し、新たな価値を創造したいです。そこに改めて我々の存在意義を見いだしています。

井水 展示では自律型二足歩行ロボットやAMRが注目を集めていたそうですね。FA関連機器・システムは多くの産業用ロボットや周辺機器を扱うため、技術動向や各機器の特徴を熟知しており、ロボットの導入提案からメンテナンスまで一貫して対応できます。最新技術を生かすためにも、これからも人材教育を重視したいです。

井水 各実験施設は貴社社員の教育だけでなく、一般の方々にも無料開放しています。実際に産業用ロボットに触れる機会はないので、体験型施設の存在は重要です。操作やプログラミングといった基礎的なスキルも実施していますし、顧客の要望に合わせて、センシング技術やシミュレーターなどの応用講座も開講しています。この事業は、産業界を支えるモノづくり人材を育む貴重な取り組みとなっています。

山田 最適なシステム提案と顧客の技術者育成支援を両立させたいです。製造プロセスの中にロボットをうまく組み入れることが重要ですので、我々は工場の改善提案も行います。工程改善が十分でない現場に産業用ロボットを入れても導入効果は薄くなります。中小企業が長年培ったノウハウと独自技術をつかりと残しながら、競争力あるモノづくり現場に変革してきたいです。



山田会長(右)と井水相談役(左)がモノづくりの未来を語り合った

世界トップクラスのSier

井水 自動化や省人化は、生産性や品質の向上、安全性確保などメリットが大きい。一方で自動化の最適解は工場規模や製造品目、生産量によって異なります。多くの企業がその重要性を理解していますが、「自社ではどうすれば活用できるのか」と立ち止まってしまう」との話をよく聞きます。依然として導入時の心理的ハードルも高いようです。プライベートショーでは生産性向上、省人化、設計・試作・開発支援、省エネ、監視システムなど、多様なソリューションを設定しました。出展品も産業用ロボットや自律移動ロボット（AMR）、ロボットハンド、各種センサー、物流拠点向けの自動倉庫、生産管理に関するソフトウェア、省力機器まで幅広くそろえました。

山田 当社は年間3000台の産業用ロボットを販売する世界トップクラスのSier（システムインテグレーター）でもあります。メカトロニクス専門商社としての調達力とSierの目利きを生かし、工場の課題解決に直結するヒントの提供を目指しています。自動化の要となる産業用ロボットの引き合いの半分は、協働ロボットの案件とお聞きしています。

井水 展示では自律型二足歩行ロボットやAMRが注目を集めていたそうですね。FA関連機器・システムは多くの産業用ロボットや周辺機器を扱うため、技術動向や各機器の特徴を熟知しており、ロボットの導入提案からメンテナンスまで一貫して対応できます。最新技術を生かすためにも、これからも人材教育を重視したいです。

井水 各実験施設は貴社社員の教育だけでなく、一般の方々にも無料開放しています。実際に産業用ロボットに触れる機会はないので、体験型施設の存在は重要です。操作やプログラミングといった基礎的なスキルも実施していますし、顧客の要望に合わせて、センシング技術やシミュレーターなどの応用講座も開講しています。この事業は、産業界を支えるモノづくり人材を育む貴重な取り組みとなっています。

山田 最適なシステム提案と顧客の技術者育成支援を両立させたいです。製造プロセスの中にロボットをうまく組み入れることが重要ですので、我々は工場の改善提案も行います。工程改善が十分でない現場に産業用ロボットを入れても導入効果は薄くなります。中小企業が長年培ったノウハウと独自技術をつかりと残しながら、競争力あるモノづくり現場に変革してきたいです。

自社物流を最適化

井水 「物流の2024年問題」に直面し、荷主である製造業も物流改革に乗り出しています。ロボットやAIの活用などで倉庫内作業の自動化が急速に進んでおり、今後の市場成長も見込まれます。貴社は25年8月、大規模な物流施設「ロジポート名古屋」（名古屋市中村区）にて大型倉庫を稼働されました。この知見を物流向けソリューションビジネスに展開させています。16年に開設した「ダイドー名古屋ロボット館」（名古屋市中村区）を皮切りに自前で実験体験型施設を開設してきました。名古屋、三河（愛知県安城市）、東京、福岡の各拠点に計100台の産業用ロボットのほか、周辺機器を設置しています。当社エンジニアは多くの産業用ロボットや周辺機器を扱うため、技術動向や各機器の特徴を熟知しており、ロボットの導入提案からメンテナンスまで一貫して対応できます。最新技術を生かすためにも、これからも人材教育を重視したいです。

井水 顧客は製品の安定供給を維持するため、物流関連投資を増やしています。当社では25年に物流関連の受注が伸びました。成長領域として注力したい分野です。当社は商社として空圧・油圧機器、直動システム、制御・計測機器など幅広くFA機器を取り扱っています。卸売業ですので、日本10倍の市場規模です。電動ろくろの販売事業が加わったことで、米国子会社の基盤が確立できました。安定収入が見込めるので、ビジネスとしても期待しています。また、米国人にとって、ろくろは日本の文化というイメージを持たれているので、単なる製品の販売だけでなく、文化を発信できている充実感もあります。BtoC関連の商品であり、従来のFA機器の販売チャンネルと異なるので、商圏を広げる大きなチャンスと捉えています。変化する世界、チャンスがあります。商社で培った「つながり」をいかして成長し、今後も時代が求める会社であり続けたいです。

井水 本日はどうもありがとうございました。



大阪支社3階の多目的スペース



大阪市西区の大阪支社

メカトロニクス技術商社
ダイドー株式会社

本社 名古屋市中村区名駅南4-12-19
TEL 052-533-6705
資本金 7億7764万円
売上高 1200億円(2025年11月期見込み・連結)

仕入先 約3000社
取引先 約5000社
従業員 1200人
設立 1952年(昭和27)12月

ダイドーロボット館、オートマチックファクトリーの見学はHPより申し込みできます。 <https://www.daido-net.co.jp>